

公益財団法人 武田太加志記念能楽振興財団

令和5年度 第8期 事業計画

令和5年7月1日～令和6年6月30日

1、能楽公演事業

- (1) 花影会 第54回 令和5年11月4日(土) 於)観世能楽堂
第55回 令和6年4月21日(日) 於)観世能楽堂
- (2) 謡初め 令和6年1月 日付未定 於)武田修能館

2、玄人研修事業

- (1) 稽古能 諸々の状況を鑑みて開催を検討中 於)武田修能館
- (2) 能面、能装束の研修 年6回開催 於)武田修能館

3、普及啓蒙事業

- (1) 学生向けワークショップ
杉並区立松溪中学校
他、ボランティアを含め数校行うことを検討する。
- (2) 能+〇〇 令和5年7月23日(日) 合計4回開催 於)武田修能館
- (3) 能面講座 令和5年7月3日(月) 合計4回開催 於)武田修能館
- (4) 復興支援事業
熊本地震復興支援事業 能楽講座 令和6年1～2月
於)県内小中学校及び高齢者施設

4、面装束管理事業

- (1) 能面、能装束の貸し出し 随時
- (2) 能面、能装束の修繕 随時
- (3) 虫干し 令和5年8月11(祝)・12(土)・14(月) 於)武田修能館

5、修能館管理事業

- (1) 武田修能館の貸し出し 随時
- (2) 武田修能館の維持管理 随時

その他

新型コロナウイルス感染症の五類移行を受け、公演事業の集客目標を達成出来るよう、より積極的な広報宣伝活動に努める。普及啓蒙事業では、能+〇〇、虫干し、能面講座をはじめとする事業の参加者を能楽堂で行う公演へ導くことで能楽鑑賞人口の裾野拡大に寄与する。事業収入、会費、寄付金及び各種助成金の取得による収益構造の定着化を目指す。